

# 風

かぜ カゼ

99.11.16発行 NO.15

## ◇報恩講のご法縁に会う

前日の雨も上がり、秋晴れのさわやかなよい日に恵まれました。ご夫妻でのお詣りもあり、昨年より多くの方にご法縁を結んでいただきました。お正信偈を皆さんと一緒にお勤めした後、山田義俊師よりご法話をいただきました。

私たちは願いを持ち、その願いを満たすために種々努力をし生活を重ねますが、私たちの願いはとかく欲望と化し不确实で止まることがありません。願いを持つことはいいことですが、願いそのものの質を問いたいことです。確かな不変の願い、換言すれば如来の願いに応える生活が望まれる。親鸞さまはこれを「他力の救い・教え」と私たちに諭しておられるとお取次ぎいただきました。

## ◇お仏壇のおかざり

お仏壇のお飾りは三具足といって①蠟燭②花③香の三つは仏壇の大小に関係なくなくてはならないお飾りなのです。(安樂寺本堂の平常莊嚴は三具足) 仏教の教えは①智恵と②慈悲の教えと言われています。智恵の象徴としてお蠟燭が、慈悲の象徴として花がそれぞれ大事にされているのです。お香は作法としてそのまま、印度から中国・日本と伝来されたものといわれています。(風No.6No.9も再読下さい)

## ◇今月の安樂寺伝道掲示板

私どもの生活は  
思を受くる生活で  
あると同時に  
思に報ゆる  
生活である

暁鳥 敏